

医療法人西浦会 介護老人保健施設 長生苑

長生苑ネットワーク

「事務長挨拶」

新年明けましておめでとう
ございます。
皆様方には、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

私は平成十二年の介護保険制度創設の四月に長生苑に入職しました。
それから現在までに幾度かの法改正の影響で大変な事もありましたが、御利用者様・御家族様のことを第一に考えて施設運営を行ってきました。

そんな中、今年は老健施設の本格実施から二十五年の節目の年になります。
また、私も含め『団塊の世代』が高齢者の仲間入りをします。

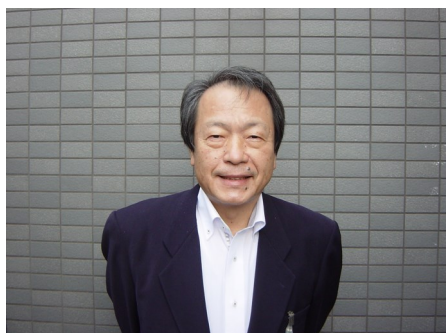
今後益々加速する高齢化の中で、保険料の自己負担額の増大、看護・介護職の人材不足等問題が山積みみの介護保険の行く末を危惧して

います。そんな中で本来の老健の機能が改めて問われています。

今後は特に在宅復帰に向けての取組に重点を置き、各居宅支援事業所、保健・医療・福祉機関などの皆様と連携し、地域と一体となったケアを積極的に担う必要があります。

その為にも与えられた老健施設の役割を地域に根差し、利用者様、家族様に安心して喜んで頂ける施設を目指して職員一同頑張っています。

事務長 宮田 潔



「看護職員・介護職員 募集」

長生苑では、高齢者のケアを担っていただける看護職員（年齢不問）・介護職員を随時募集しております。
募集要項など詳しくは門真職業安定所求人要綱、または左記ホームページの求人案内をご覧ください。
また、詳しい説明をお聞きになりたい場合はぜひご連絡をお願い致します。

担当者 事務長 宮田



「入所・短期入所・通所 利用状況について」

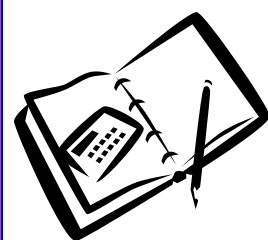
ただいま入所・短期入所・通所の各サービスおきまして、比較的スムーズにご案内できる状態となっております。
その機会がございましたらぜひ以下の担当者までお気軽にお問い合わせ願います。

入所・短期入所担当

支援相談員 岡崎・斎藤

通所リハビリテーション担当

デイケア 住岡・大西



編集後記 ノロウイルスによる感染症胃腸炎が流行しています。今後インフルエンザの流行も懸念されます。うがい手洗いの励行と、体調不良が見られる場合には、すみやかに医療機関を受診しましょう。（M）

発行

医療法人西浦会
介護老人保健施設 長生苑ホームページアドレス
<http://nishirukai.jp/cyoseien/>

「一年を振り返る」

長生苑で働き始めて一年が経とうとしています。
不慣れな事も多い中で、利用者様や先輩方が優しく接して下さり、毎日楽しく仕事が出来ました。

また、お花見や夏祭りなどの色々な行事にも参加させて頂きました。そこでの職員一人一人の利用者様への気遣いはとても勉強になりました。

失敗して落ち込むこともありましたが、皆様の『ありがとう』という言葉で、この一年間を過ごす事ができたと思います。

デイケア 芝 絵美



優しい先輩方と頑張っています！



初心を忘れず頑張ります

介護 山内 理恵子

「クリスマス会」

昨年、十二月二十二日(土)にクリスマス会が行われました。始めはクリスマスソングの楽器演奏でした。すごく息が合っていて、リズムも良く、職員の一生涯懸命さが伝わってきました。利用者さんたちもじっと聞いていました。演奏が終わると『上手やね!』『良く練習したね』と拍手喝采でした。

次にバレエの「白鳥の湖」ならぬ「黒鳥の湖」が披露されました。最初見たとき少し気持ち悪かったですけど(笑)・・・(踊っていた人にはごめんなさい)。でも、和気あいあいの雰囲気を感じ良かったです。その後、利用者様参加によるゲームが行われました。皆さんゲームの勝敗に歓声と悲鳴が入り乱れすごく盛り上がりました。

最後は、職員のダンスです。それぞれの個性が混ざり合っただけでも楽しいダンスで利用者様も大変喜んでいました。短い時間でしたが、次回も楽しいクリスマス会が出来ますように・・・

介護 松岡 保文



リズムを合わせてハンドベル演奏



練習を重ねた踊りです!

「おせち料理とは」

おせちとは、元旦と年に五回の節句に神前に食べ物を供えた「御節句」が由来と言われています。

特に大切な正月に神に供えたものをおせち料理と言うようになりました。

宮中のしきたりが形をかえて庶民に広がったのは江戸時代の後半で二百年程の歴史しかありません。

お節料理にはそれぞれ意味があり、

○黒豆

まめ(健康)に暮らせる様

○里芋

子宝に恵まれるように

○くわい

芽がでますように

○なます

紅白の水引きを表す

○数の子

子孫繁栄



『お正月やね』『おいしい!』と大好評でした。

管理栄養士 長田 順子

長生苑では元旦と二日に縁起の良い食材を彩りよく盛り付けたおせち料理を提供しています。皆様に少しでも正月の気分を少しでも感じて頂く様に、お屠蘇で新しい一年の幕開けをお祝します。

「デイケア職員のツITTER」

初笑い 二人羽織り編

新年明けましておめでとうございます。皆様、お正月はどうでしたか?お餅におせちなど食べ過ぎてはいないでしょうか?

早速ですが新年第一号も去年に引き続き山口が担当させていただきます。

今回は、デイケアの新春初笑い行事の『二人羽織』を紹介させていただきます。

これは、職員が二人一組になり後ろの人が前の人に食べ物を食べさせる芸です。

今回は、熱湯の入ったカップ麺とシュークリームで行いました。ただ単に食べさせても面白くないので、わざと、うどんを鼻の上に置いたり、クリームで顔を塗ったりしました。

そうすると利用者様からは、

『熱い!熱い!』

『もっと下!そこ鼻!』と声上がり、大爆笑でした。



デイケア 山口 剛生

今年も色々楽しい行事を考えていますので楽しみにしてて下さい。

体を張って頑張りました

職員投稿

「我が家の食事」

食育の重要性が大きな関心を集めています。農林水産省は食育の一環として二〇一一年に『まじごはん計画』立ち上げたそうです。

ポイントは、

①「食べる」事を大切に思える機会をもっと作ろう。

②作る人たちの「マジ」を真面目に知ろうです。

その上で、『ちゃんとしたものを、ちゃんと食べる』習慣を根付かせるということです。

子供の頃、母は忙しくても、手料理を食べさせてくれました。その影響で私も、仕事をしていても手料理をと、毎日奮闘しています。(時には、お惣菜の力も借りますが・・・)

その上で、おいしく食べようというのを念頭に、『食』をしつかり見直し、素材の持つ味を子供たちに伝えていきたいと思っています。



ケアマネジャー 城本 和代
息子の為にがんばりました

また、子供のお弁当を作るときは、出来るだけ『かわいく、楽しく』を念頭に置き作っています。うまく作れたときは、子供達は完食してくれます。その時は、『がんばって良かった』と思います。

毎回、写真の様なお弁当を作ることは難しいですが、これからも『美味しく、楽しく、かわいく』で子供たちに食育していきたいです。